

東京2020オリンピック・パラリンピックボランティア情報

川村学園女子大学
藤原昌樹

◆開催日程

オリンピック競技大会 2020年7月24日(金)～8月9日(日)
パラリンピック競技大会 2020年8月25日(火)～9月6日(日)

◆東京2020大会で活躍するボランティア

「大会ボランティア」

- ・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が募集。
- ・観客サービス、競技運営のサポート、メディアのサポートなど、大会運営を支える。
- ・競技会場や選手村などの大会関係施設が活動場所。
- ・約8万人を募集。

「都市ボランティア」

- ・東京都オリンピック・パラリンピック準備局が募集*。
- ・国内外の旅行者に対する観光・交通案内及び競技会場の最寄駅周辺における観客への案内などを行う。
- ・空港・主要駅・観光地及び競技会場の最寄駅周辺が活動場所。
- ・約3万人を募集(うち2万人を新規募集)。

※千葉県および茨城県でも都市ボランティアを募集。

◆活動期間

「大会ボランティア」

大会期間中および大会期間前後において、10日以上活動を基本とする。競技スケジュール、活動内容、活動場所等によっては、シフト等の都合により10日を下回る場合もある。

※大会期間前は、2020年4月以降を想定。

※連続での活動は、5日以内を基本とする。

※オリンピック、パラリンピック両方での活動を希望する場合は、それぞれ10日以上、合計20日以上を基本とする。

「都市ボランティア」

大会期間中、5日間以上が活動日となる。

※連続した日程でなくても参加できるため、土日等の週休日を活用した参加が可能。

※活動日程が重複しなければ、大会ボランティア・都市ボランティアの両方に応募し、参加することも可能。

◆活動時間

「大会ボランティア」

休憩・待機時間を含み、1日8時間程度。

※競技スケジュール、活動内容、活動場所等により異なる場合がある。

※その他食事時間がある。

「都市ボランティア」

1日当たり5時間程度。

※活動時間は5時間を予定しているが、活動開始前・活動終了後に各30分程度のミーティングの実施を予定。

※活動時間において、適宜、食事を含む休憩時間を設定する。

◆応募にあたって

「大会ボランティア」

次の2つにあてはまる方が応募可能。

1. 2002年4月1日以前に生まれた方
2. 活動期間中において、日本国籍又は日本に滞在する在留資格を有する方

「都市ボランティア」

次の3つに当てはまる方が応募可能。

1. 2002年4月1日以前に生まれた方
2. 日本国籍を有する方又は日本に居住する資格を有する方
3. 日本語による簡単な会話(意思疎通)ができる方

◆応募期間 (両ボランティアとも)

2018年9月26日(水)13時から12月5日(水)正午まで

◆応募登録

「大会ボランティア」

<https://tokyo2020.org/jp/special/volunteer/method/>

「都市ボランティア」

東京都 <http://www.city-volunteer.metro.tokyo.jp/jp/join/application/outline/index.html>

千葉県 <https://www.shinsei.elg-front.jp/chiba2/uketsuke/dform.do?id=1535344018705>

茨城県 <https://www.suishin.ibaraki2020.jp/volunteer>

◆「大会ボランティア」の活動分野・活動内容

大会ボランティアは、競技が行われる会場や選手の生活ベースとなる選手村、その他大会関連施設等で、観客サービスや競技運営のサポート、メディアのサポート等、大会運営に直接携わる活動を行う。

人数は目安で、大会運営の準備状況等により変更となる可能性がある。

応募する際に、希望する活動分野を最大3つまで選択することができる。ただし、必ずしも希望どおりになるわけではない。

活動分野は複数の活動が組み合わさった記述。そのうち一部の活動を行う。

活動分野	主な役割・活動内容	人数目安(人)
指定しない	➢ どの役割・活動内容でもよい。	
案内	➢ 会場内等で観客及びオリンピック・パラリンピック関係者の案内、チケットチェック、セキュリティチェックサポート等を行う。 ➢ オリンピック・パラリンピック関係者が円滑に日本に入国・宿泊できるよう、空港やホテルでの案内を行う。	16,000～25,000
競技	➢ 各競技及び練習会場内において、競技運営等のサポートを行う。	15,000～17,000
移動サポート(運転等)	➢ オリンピック・パラリンピック関係者が会場間を移動する際に車を運転し、快適な移動となるようサポートする。	10,000～14,000
アテンド	➢ 海外要人等が快適に日本で生活できるよう接遇を行う。 ➢ 空港や会場等において、海外要人の接遇を行う。 ➢ 選手団が選手村に入る前から準備を行い、選手が快適な競技生活を送ることができるよう、外国語でのコミュニケーションサポート等を行う。 ➢ 競技を終えた選手がメディアからインタビューを受ける際に、外国語でのコミュニケーションサポート等を行う。	8,000～12,000
運営サポート	➢ 競技会場、選手村、車両運行等の運営サポートを行う。 ➢ ユニフォーム配付施設においてスタッフ(ボランティア等)のユニフォーム配付を行う。 ➢ ユニフォーム配付施設や、会場、空港等において、事前に登録された情報を基に、オリンピック・パラリンピック関係者が保有するIDを発行する。 ➢ スタッフが日々の活動を開始する際の「チェックイン」受付等を行う。 ➢ 選手村やメディアセンターにおいて、各国から来る選手団やメディア、その他関係者が利用する物品の貸出しを行う。	8,000～10,000
ヘルスケア	➢ 観客やオリンピック・パラリンピック関係者等に急病人やけが人が出た場合に、「ファーストレスポonder」として速やかに対応する。 ➢ 選手にけが人が出た場合、医務室への搬送サポートを行う。 ➢ 競技を終えた選手に対して、ドーピング検査員が検査を実施する際のサポートを行う。	4,000～6,000
テクノロジー	➢ 通信機器等の貸出しや回収等のサポートを行う。 ➢ 競技会場内で競技結果の入力や表示を行う。	2,000～4,000
メディア	➢ 国内外のメディアが円滑に取材することができるよう、各種サポートを行う。 ➢ 記者やフォトグラファーの取材の管理サポート等のほか、記者会見をスムーズに行うための準備・運営サポートを行う。 ➢ 東京2020大会を記録するための記録用写真及び動画の編集サポートや選手村の新聞制作のサポートを行う。	2,000～4,000
式典	➢ 各競技の表彰式において、選手やオリンピック・パラリンピック関係者の案内、メダル・記念品の運搬等を含めた表彰式運営のサポートを行う。	1,000～2,000

◆「大会ボランティア」の活動にあたり支給される物品等

- ・ 「東京2020大会ボランティア」オリジナルデザインのユニフォーム一式(シャツ, ジャケット, パンツ, キャップ, シューズ, バッグ等。アイテムによっては、複数枚を予定)
- ・ 活動中の飲食
- ・ ボランティア活動向けの保険
- ・ 活動期間中における滞在先から会場までの交通費相当(1000円/日)

※ オリエンテーション, 研修及び活動期間中における滞在先までの交通費及び宿泊は、自己負担・自己手配。

◆「大会ボランティア」応募からの流れ

